

# ブルースター



この学年通信の名前は2組の[ ]さんが考えてくれました。この青学年が星のように輝き、学校を引っ張っていただけますように。そしてブルースターはメインの花ではなく、脇役的な存在。輝くだけではなく、裏でも支えていける学年になりますように…。花言葉は「信じあう心」。クラスメイトを信じながら、行事や受験に向かって進んでいけますように…という思いが込められています。



来週の5日から完全冬服実施（衣替え完了）になります。間違っても夏服で来ると笑われますな…(-\_-)

## 来週の予定



朝晩寒いので体調管理にご注意を！！

日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
4	月	振替休日	
5	火	50分授業×4 3年生5・6カット <b>完全冬服実施</b>	白衣
6	水	45分授業×4 区中研一斉研究日（教科） 掃除なし・引率下校	
7	木	50分授業×4 3年生5・6カット 朝読書 よむYOMUワークシート 区芸能祭学芸会① 牛乳パック回収	
8	金	50分授業×4 3年生5・6カット 区芸能祭学芸会② 定期考査1週間前（職員室入室禁止）	白衣持ち帰り

- ※ 前号でも載せましたが、三者面談期間中の午後カットは遊びの為ではありません。先週の週末もクラスの殆どの生徒が遊びに行っていたと嘆いている担任の先生がいました。ちなみに今日から2学期期末考査の2週間前になっています。ここまで来て遊んでいる人は、希望の進路実現を真剣に考えているとは言えません。結果を変えるための時間を大切に。結果が出てから嘆いているのは時間の無駄です。
- ※ 面接練習ですが、予定時刻の5分前には校長室前の椅子に座って待つこと。待機時間も実際の受験時と同じように待ちましょう。友人が通ったからと言ってお喋りをしたり、ふざけるなど厳禁です。なお、都合が悪い人はクラスの中で交渉・交換をして、その結果を担任の先生へ伝えるように。

## 11月第2週の時間割 3年生の三者面談に伴い、時間割が変更になっています！！

1組	11/4 月	11/5 火	11/6 水	11/7 木	11/8 金
1	振替休日	理科	道徳	社会	社会
2		英語	理科	体育	理科
3		数学	英語	数学	美術
4		家庭	社会	国語	国語
5		面談	×	面談	面談
6		面談	×	面談	面談
3組	11/4 月	11/5 火	11/6 水	11/7 木	11/8 金
1	振替休日	英語	道徳	体育	英語
2		社会	国語	英語	美術
3		体育	技術	社会	数学
4		理科	社会	数学	音楽
5		面談	×	面談	面談
6		面談	×	面談	面談
2組	11/4 月	11/5 火	11/6 水	11/7 木	11/8 金
1	振替休日	国語	道徳	理科	理科
2		英語	社会	技術	社会
3		数学	英語	数学	音楽
4		社会	国語	体育	美術
5		面談	×	面談	面談
6		面談	×	面談	面談
4組	11/4 月	11/5 火	11/6 水	11/7 木	11/8 金
1	振替休日	英語	道徳	技術	英語
2		体育	社会	英語	国語
3		国語	理科	体育	数学
4		社会	美術	数学	理科
5		面談	×	面談	面談
6		面談	×	面談	面談

※ 太字網掛けの**社会**は[ ]先生の**社会**になります。普通の**社会**は[ ]先生の**社会**です。

## 文化祭を終えて。。。

### 結実の瞬間 3組

私は『最後』の文化祭で『初めて』の経験をした。最優秀賞が決まった『結』の伴奏が流れた瞬間、私は涙を流していた。絶対に卒業式までは泣かないと決めていたのに、意に反して涙が出てきていた。こんな経験は初めての経験だった。今までも泣いたことは勿論あったが、それらは全て怒られて泣く、傷ついて泣くなど、悲しさや悔しさが理由だった。しかし今回は違った。じゃあ、何の涙だったのだろうか。三年間で初めて賞が取れたから？全員で歌えたから？これらも含んでいるが、やはり一番は、全員の最後の文化祭で、クラス一丸となって目標に向けた努力が、最優秀賞といった形で『結』ばれた瞬間だったからだと思う。努力が実を結ぶ瞬間を仲間と共に味わえる。そんな幸せな時間を体験することが出来た。この体験や、共に悩み、共に笑い、時にはぶつかりながら築いた絆は、何物にもかえられない宝物になったと思う。三年生の合唱が始まる前の休憩時間に、励まし合ったり練習の中で笑い合ったりした日々。全ての努力がこの瞬間に凝縮されていると感じた。何十時間も練習してきたうちの、たったの四分弱の舞台上での合唱も、結果発表でみんな手を繋ぎながら祈ったあの瞬間、最優秀賞が決まったあの瞬間、涙を流しながら友達と喜んだ瞬間。どの瞬間も思い出として忘れずに卒業まで歩んでいきたい。

### 結 3組

私は文化祭を通して、3組がとてつもなく大好きになった。毎年同じことを書いている。誰がどういうことを特に頑張っていたとか、誰が良く意見を言ってくれたとか、そういうのはあるけど、でも『合唱コンクール』という本番で歌った私たちの曲はこの三年三組の力で確かにできていて、全員で完成したものだと思う。練習が始まった時は、とにかくアルトが難しく大変だった。音取れない！！リズム取れない！！そればかりで、みんなと合わせた時も、全体の事なんて気にしていられなかった。でもそれは練習するしかない。アルトみんなで努力を重ねて、だんだん音源に近づけることが出来た。そんな時、私は初めて自分たち以外のパートに耳を傾けた。一番に思ったことは『三組って頑張らない人いないんだな』ということだった。どこを見渡しても全力で歌っているクラスメイトしかいなかった。結果は最優秀賞。ここまで全員で力を合わせたクラスは他にはないよねって正直思っていたけど、努力が報われるって本当に嬉しいものだなと思った。私は一学期から指揮者になる努力をしていた。選考の結果ダメだった。こんなことに自信を持つことは良くないかもしれないけれど、松五に入学してこんなに挑戦してこんなに散っている人は、数少ないと思う。どんなに思いが強くて努力をしても、結果がついてくるとは限らない。私は二年半の学校生活で強く思い知らされた。やりたいことがやれる、つきたい役職につける、取りたいものが取れる、それって当たり前じゃない。頭ではわかっていたけれど、ここまで深く痛感できたのは、これまでの経験があるから。だからやっぱり自分の未来を創造することは怖い時もある。でも三組のみんなが最優秀賞を獲れた。周りの環境全てに感謝して、あと半年、前を向いて進み続けたい。

### 最後の行事 1組

『あれっ』これが今回文化祭での、いや、最後の文化祭で思ったこと。正直今も気持ちの整理がつかない。三年生だからかもしれないけれど、一・二年生の文化祭よりアッという間に本番が来た気がする。大切な中間テストが返されたからかもしれない。部活の引退の駅伝が近付いてきたからかもしれない。弁論があったからかもしれない。ちなみに弁論は本当に緊張した。一年生の子の弁論が思ったよりレベルが高くて、間違ったらどうしようって。何とか頑張って本当に良かった。終わった後に滅茶苦茶ニコニコだったと思う。まあ、弁論はまだここが通過点だから本題に戻ろう。本番があっという間だったのは、こういうことが多かったからかな。そして自分はこういう忙しい中で、合唱にどう向き合ってたのかなって思った時、やっぱり心は一番正直だった。何か心がすっぽり空いたような喪失感に襲われた。悔しいと情けないと申し訳ないが混ざった感じ。一組は最優秀賞じゃなかった。優秀賞の発表の時、女子の方は見えなかったけど、おそらく泣いていたのかな。どんよりした雰囲気がかっちまで届いた。『ヒカリ』が流れた時は悔しかった。悲しかった。でも、そんな時に練習を思い出したらこう思った。『もう少し頑張れたんじゃないのか』この言葉はいつだって後悔の種だ。あと少し発声練習を頑張っていたら、もっときれいな声で歌えたんじゃないのか。あと少し音楽を聴き、強弱を考えられたら、もっとかっよく歌えたんじゃないのか。本当に情けない。女子の多くが泣きそうだったのは、本気でやった結果が結び付かなかったから。自分たちはそこまでできたのか。本当に申し訳ない。自分はいつでもそうだな。だけど、それをいつまでも考えても仕方ない。自分たちは受験生。大切な一日をどう使うか。その経験をどうするのが大切だ。結論は出ている。そしてそれは行動で示そう。今、目の前の大きな壁を使って。